

SMA用上肢モジュール 改訂版 (RULM) スコアシート

Revised Upper Limb Module for SMA

監修

東京女子医科大学 臨床ゲノムセンター 所長・特任教授／
東京女子医科大学 遺伝子医療センター ゲノム診療科 特任教授
齋藤 加代子 先生

監修

東京女子医科大学 リハビリテーション科 教授
猪飼 哲夫 先生

監修

東京女子医科大学病院 リハビリテーション部 理学療法士 主任
長谷川 三希子 先生




These materials are reproduced with permission for the purpose of training healthcare professionals in these assessment tools developed for spinal muscular atrophy (SMA) patients.

SMA用上肢モジュール改訂版 (RULM) スコアシート

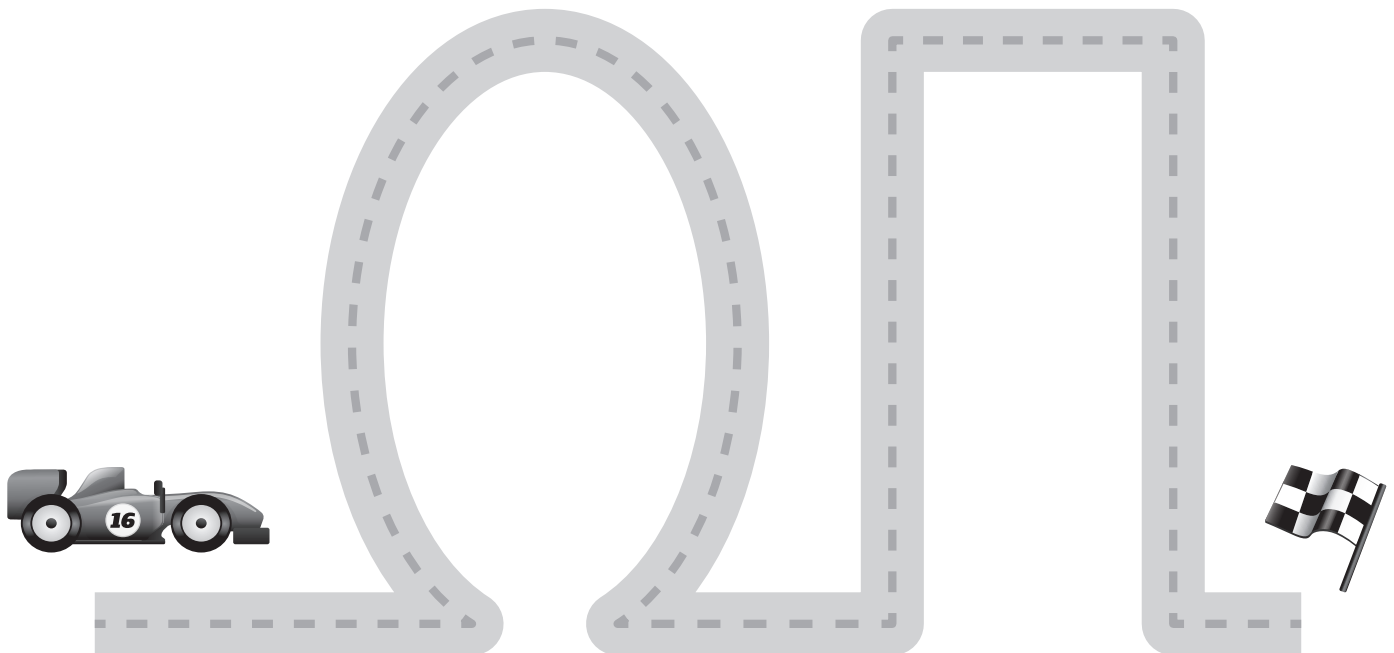
Revised Upper Limb Module for SMA

| | |
|--|--|
| 評価日： 年 月 日 利き手： <input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左 <input type="checkbox"/> 両利き 胸腰仙椎装具 (TLSO) の装着： <input type="checkbox"/> 有* <input type="checkbox"/> 無 ※「有」の場合は装具の種類を明記： 右肘関節の拘縮： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 左肘関節の拘縮： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 サルブタモールの吸入： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 脊椎手術歴： <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 評価対象の上肢： <input type="checkbox"/> 右 <input type="checkbox"/> 左 | 開始時間： 時 分 (24時間で記載) 被検者氏名/ID： 評価者の氏名： 評価者の署名： |
| コメント | |

| A 導入項目 | 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 |
|---------------|---|--|--------------------------------------|--|---|--|----|
| 有用な手の機能がみられない | 鉛筆を持つ、コインを拾い上げる、電動車椅子を駆動させる、電話のキーパッドを使用する、のいずれかで手を使用できる | 片手または両手を持ち上げて口元まで持っていくことができるが、200gの重りが入ったカップを口元まで運ぶことはできない | 必要があれば、両手で200gの重りが入ったカップを持ち上げることができる | 代償動作の有無にかかわらず、両腕を肩の高さまで同時に挙げることができる。肘関節は屈曲/伸展どちらでもよい | 肘関節を屈曲し、移動の円周を短縮すれば/補助筋を用いれば、両手を同時に頭より上に挙げるができる | 肘関節を伸展し、頭より上で両手が触れるまで完全な円を描いて両腕を同時に外転させることができる | |

| | 手順 | 0点 | 1点 | 2点 | 点数 | |
|---|--|--|---|--|-----|-----|
| | | | | | 右 | 左 |
| B | 手を膝からテーブルに移動させる | 片手をテーブルに移動できない | 片手をテーブルまで完全に移動できる | 両手を、同時にまたは片手ずつ、テーブルまで完全に移動できる | LBC | LBC |
| C | 作業を止めずに、または鉛筆を紙から離さずに、車の絵をゴールまで移動させる道筋を完全に鉛筆でなぞることができる | 鉛筆を握った状態が保持できない、またはなぞることができない | 道筋を完全になぞることができるが、作業を止める、または紙から鉛筆を離す必要がある | 作業を止めず、かつ紙から鉛筆を離さずに、道筋を完全になぞることができる | LBC | LBC |
| D | コインを拾い上げる | 1枚のコインを拾い上げることができない | 1枚のコインを拾い上げることができる | 2枚のコインを拾い上げて、手の中に握っておくことができる | LBC | LBC |
| E | コインをカップの中に入れる ・テーブル上：水平 ・肩の高さ：垂直 | コインを動かすことができない  肩関節90度屈曲位で、カップは被検者が手を伸ばした手関節の距離で、テーブルの上に水平に置く | 水平に置かれたカップまでコインを移動できる  肩関節90度屈曲位で、カップは被検者が手を伸ばした手関節の距離で、テーブルの上に水平に置く | 肩の高さにあるカップまでコインを移動できる  肩関節90度屈曲位で、カップは被検者が手を伸ばした上肢の距離で、肩の高さに垂直に保持した位置 カップの上縁は被検者の手の下 | LBC | LBC |

LBC：拘縮による制限



| | 手順 | 0点 | 1点 | 2点 | 点数 | |
|---|---|--|---|--|-----|-----|
| | | | | | 右 | 左 |
| F | 側方に手を伸ばして、コインに触れる 手を肩の高さか、それより上に挙げる | 肩関節を90度外転位にし、手関節の距離にコインを保持する 手をコインの高さまで動かすことができない | 肩関節を90度外転位にし、手関節の距離にコインを保持する 手をコインの高さまで動かすことができる 肘関節は屈曲/伸展どちらでもよい | 肩関節を135度外転位にし、指先の距離にコインを保持する 手をコインの高さまで動かすことができる 肘は少なくとも目の高さ | LBC | LBC |
| G | 片手でボタンライトを押す | 片手でライトを点けることができない | 片手の複数の指または親指で瞬間的にライトを点けることができる 肘は手関節より高い位置にあってはならない | 片手の複数の指または親指で持続的にライトを点けることができる 肘は手関節より高い位置にあってはならない | LBC | LBC |
| H | 紙を破く | 2つに折りたたまれた紙を破くことができない | 2つに折りたたまれた紙を端から破くことができる | 4つに折りたたまれた紙を端から破くことができる | LBC | |
| I | ジップロック容器を開ける | 開けることができない | 容器をテーブルに置いた状態、または体に押しつけた状態で完全に開けることができる | | LBC | LBC |
| J | 200gの重りが入ったカップを口元まで運ぶ | カップを口元まで運ぶことができない | 両手で200gの重りが入ったカップを口元まで運ぶことができる | 片手で200gの重りが入ったカップを口元まで運ぶことができる | LBC | LBC |
| K | 重りを持ち上げて、スライドさせずに1つの円からもう1つの円に移動させる(正中の円から検査側の外側の円まで横に) | できない | 200gの重りをスライドさせて移動できる | 200gの重りを持ち上げて移動できる | LBC | LBC |
| L | 重りを持ち上げて、スライドさせずに1つの円からもう1つの円に移動させる(正中の円から検査側の外側の円まで横に) | できない | 500gの重りをスライドさせて移動できる | 500gの重りを持ち上げて移動できる | LBC | LBC |
| M | 重りを持ち上げて、スライドさせずに1つの円からもう1つの円に移動させる(正中の円から斜め反対側の円まで対角線上に) | できない | 200gの重りをスライドさせて移動できる | 200gの重りを持ち上げて移動できる | LBC | LBC |

LBC: 拘縮による制限

| | 手順 | 0点 | 1点 | 2点 | 点数 | |
|---------|--------------------------------|-------------------------------|---|--|------|-----|
| | | | | | 右 | 左 |
| N | 500gの重錘を膝からテーブルまたは目の高さまで運ぶ | 両手を使っても重錘をテーブルまで運ぶことができない | 両手で重錘をテーブルまで運ぶことができる | 両手で重錘を目の高さまで運ぶことができる | LBC | |
| 導入項目の点数 | 両手を頭より上に挙げる 肩関節外転 | できない | 肘関節を屈曲させれば(代償動作を用いれば)、両手を同時に頭より上に挙げるができる Brookeスコア5点 | 肘関節を伸展させ、頭より上で両手が触れるまで完全な円を描いて両腕を同時に外転させることができる Brookeスコア6点 | LBC | |
| P | 500gの重りを肩より上の高さに持ち上げる 肩関節外転 | 代償動作を用いても500gの重りを持ち上げることができない | 代償動作を用いれば500gの重りを持ち上げることができる | 代償動作を用いずに500gの重りを持ち上げることができる | LBC | LBC |
| Q | 1kgの重りを肩より上の高さに持ち上げる 肩関節外転 | 代償動作を用いても1kgの重りを持ち上げることができない | 代償動作を用いれば1kgの重りを持ち上げることができる | 代償動作を用いずに1kgの重りを持ち上げることができる | LBC | LBC |
| R | 手を肩より上の高さに挙げる 肩関節屈曲 | できない | 代償動作を用いれば手を肩より上に挙げるができる | 代償動作を用いずに手を肩より上に挙げるができる | LBC | LBC |
| S | 500gの重りを肩より上の高さに持ち上げる 肩関節屈曲 | 代償動作を用いても500gの重りを持ち上げることができない | 代償動作を用いれば500gの重りを持ち上げることができる | 代償動作を用いずに500gの重りを持ち上げることができる | LBC | LBC |
| T | 1kgの重りを肩より上の高さに持ち上げる 肩関節屈曲 | 代償動作を用いても1kgの重りを持ち上げることができない | 代償動作を用いれば1kgの重りを持ち上げることができる | 代償動作を用いずに1kgの重りを持ち上げることができる | LBC | LBC |
| | | | | | 合計得点 | |

LBC: 拘縮による制限

製造販売元 [資料請求先]

バイオジェン・ジャパン株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目4番1号

2018年9月作成
SPI-JPN-0570
SPI054MA01